

5. 評価表

	製品名	銘柄名	表示者名	本体部分の組成表示 (表示値と異なる場合の 実測値) (%)	起毛の程 度等	表面フラ ッシュに 関する警 告表示 の正確 さ(注2)	組成 表示 の正 しさ	表面フラッシュの起きにくさ(注3)					
								新 品 時	乾燥時		湿度 65 % 時(注 4)		
									洗濯後		20 回	C	B
									3回	柔軟剤			
		有	無										
1	バジヤ(男)	G-HOUSE Pour homme	日本被服工業組 合連合会	綿 100	ネル			C	A	B	B	C	
2	トレー(女)	IY BASICS	(株)ワアブライ	綿 100	中起毛			B	A	A	A	A	
3	割烹着	POLO LEAGUE	ガヲ(株)	綿 100	低起毛			B	A	A	A	B	
4	バスブ(男)	GIVENCHY	内野(株)	綿 100	パイル:長い			D	D	D	D	D	
5	トレー(男)	Championproduct s	(株)ゴールドウイ	ポリエステル 100	起毛:フリス	注1		A	A	A	-	-	
6	ジャケット(女)	Mellow with	(株)ピークス	ポリエステル 100	起毛:フリス	注1		A	A	A	-	-	
7	バジヤ(女)	h.n.	タビヨ(株)	ポリエステル 100	起毛:フリス	注1		A	A	A	-	-	
8	ジャケット(女)	U.P renoma	美濃屋(株)	ポリエステル 50,アクリル 50 (55.5, 44.5)	起毛	注1	×	A	A	A	-	-	
9	ホームウェア(女)	JOY MARY	日本織商連	ポリエステル 60,アクリル 40 (66.2, 33.8)	起毛	注1	×	A	A	A	-	-	
10	トレー(男)	MAX MORRIS	(株)サンレオ	ポリエステル 60,アクリル 40 (64.7, 35.3)	起毛	注1		A	A	A	-	-	
11	セーター(男)	B.V.D.	富士紡績(株)	アクリル 95,毛 5	起毛	注1		A	A	A	-	-	
12	タートルネック(男)	B.V.D.	富士紡績(株)	アクリル 90,毛 10 (94.0, 6.0)	起毛	注1		A	A	A	-	-	
13	バジヤ(女)	G-HOUSE Pour femme	日本被服工業組 合連合会	綿 100	ネル	×		C	B	B	B	C	
14	ガウン(男)	COMME CA DU MODE Home	チョーギン(株)	綿 100	ネル	×		C	A	B	A	C	
15	トレー(女)	saint maria	(株)ワアブライ	綿 100	中起毛	×		B	A	A	A	B	
16	バジヤ(男)	TRUSSARDI	日登美(株)	綿 55,ポリエステル 45 (52.8, 47.2)	中起毛	×		B	A	A	-	A	
17	割烹着	MARIO VALENTINO	川辺(株)	綿 100	低起毛	-		A	A	A	-	-	
18	先染めシャツ (女)	RYO	(株)リョウ・インターナ ショナル	綿 100	低起毛	-		A	A	A	-	-	
19	割烹着	Kansai	瀬川ファゼン(株)	綿 50,レーヨン 50 (54.1, 45.9)	低起毛	-		A	A	A	-	-	
20	割烹着	BON PUCHI	(株)ボンテン丸	綿 80,ポリエステル 20 (84.7, 15.3)	低起毛	-		A	A	A	-	-	
21	バジヤ(男)	renoma	荒川(株)	綿 80,ポリエステル 20 (パイル:綿 100 地組織ポリ エステル 88.1,ポリエステル 11.9)	コル天ニット	×	×	B	A	B	A	A	
22	バジヤ(男)	BEAMAN	(株)レナウン	綿 80,ポリエステル 20 (78.6, 21.4)	パイル:短い	×		B	A	A	-	A	
23	セーター(女)	idana	(株)ルシアン	レーヨン 80,ナイロン 20 (80.4, 19.6)	モル糸:長 い(注5)	×		D	B	D	D	B	
24	セーター(女)	BASHECINQ	SAKURAYAS HOJI K.K.	レーヨン 60,ナイロン 40 (56.5, 43.5)	モル糸:短 い(注5)	×		B	A	A	A	A	
25	参 考 品	割烹着	文次郎	川辺(株)	綿 100	起毛なし	-		A	A	A	A	A
26		割烹着	ELLE	(株)サロンジェ	綿 100	起毛なし	-		A	A	A	A	A

【評価記号】、×:絶対評価 :問題がない :やや問題がある ×:問題がある (表示者名が一部承認番号表示のものは調査した社名)
A、B、C、D:表面フラッシュの区分 A:表面フラッシュなし(表面フラッシュ炎が10cm未満) B:表面フラッシュあり(表面フラッシュ炎が10cm以上、又は表面フラッシュ炎が1秒以上で20cmに達した場合) C:表面フラッシュ著しい(表面フラッシュ炎が1秒未満で20cmに達した場合) D:表面フラッシュから生地本体の燃焼に発展した場合 注1:表面フラッシュに関する警告表示はあるが、表面フラッシュ炎が10cm未満であり表示は不正確である。 注2:警告表示の正確さの「×」は警告表示がないが表面フラッシュする場合。「-」は、表示がない。 注3:表面フラッシュの起きにくさは、ブラシ掛けした後に行った。「-」は、当該条件よりも厳しい条件で表面フラッシュしないので測定していない。 注4:湿度65%は、東京の4月の月平均相対湿度。 注5:モル糸とは、芯糸に飾り糸が巻き付けてある糸の呼称。 このテスト結果はテストした商品のみに関する結果である。

6. コメント

一般に、綿やレーヨンは燃え易いが、合成繊維のように熱で軟化溶融しないため、衣服に炎が接しても人体に対して熱の影響が少ないと考えがちである。しかし、生地の上に細かい繊維が毛羽立っていると、わずかな炎の接触で表面の毛羽に着火し、瞬時に燃え広がることがある。このような「基本構造（起毛の下部分）の着火を除いた材料表面の炎の急速な広がり」を表面フラッシュと称している。

テストした結果、表面フラッシュに関する警告表示のない銘柄の中に表面フラッシュするものがあった他、表面フラッシュに関する警告表示があっても、表面フラッシュしないものがあった。

表面フラッシュが最も起きやすかったのは、綿やレーヨン等の可燃性のセルロース系繊維素材で、ネル地等のように生地の上に細かい繊維が起毛されていて、毛羽の間隔がある程度あり空気を含みやすい形状で、生地の上表面が静電気等で毛羽立っていて、乾燥している時であった。また、ポリエステル、アクリル、ナイロン等の合成繊維は生地の上表面に毛羽があっても、炎に接して表面フラッシュすることはないが、炎に接した部分が溶融して皮膚に付着する危険はある。

1) 表示

(1) 表面フラッシュに関する警告表示

表面フラッシュする衣料品に警告表示のないものが8銘柄あった

綿やレーヨン等の可燃性セルロース系繊維素材を用い、生地の上表面が起毛してあり、表面フラッシュするが、表面フラッシュに関する警告表示のないものが8銘柄あったので、表示することが望まれる。また、表面フラッシュしないのに、表面フラッシュに関する警告表示のあるものが8銘柄あったが、この旨の表示は不正確と思われる。

(2) 組成表示

本体部分の組成表示については、家庭用品品質表示法の許容範囲をこえているものが3銘柄あったので、表示の徹底が望まれる

1銘柄の本体部分の表示は「綿 80%、ポリエステル 20%」であった。しかし、パイルと基布を含めた場合の実測値とでは、綿が 11.7% 多く、ポリエステルが 8.0% 少なく、ポリウレタンが 3.7% 少なく表示されていた。もう1銘柄の本体部分の表示は「ポリエステル 50%、アクリル 50%」であったが、実測値とでは、ポリエステルが 5.5% 少なく、アクリルが 5.5% 多く表示されていた。更にもう1銘柄の本体部分の表示は「ポリエステル 60%、アクリル 40%」であったが、実測値とでは、ポリエステルが 6.2% 少なく、アクリルが 6.2% 多く表示されていた。

いずれの場合も、家庭用品品質表示法の許容範囲（表示の数値が5の整数倍の場合：±5%）を超えていたので、正しい表示が望まれる。

2) 表面フラッシュの起きにくさ

表面フラッシュが最も起きやすい条件で試験した。即ち、乾燥後毛羽の起きる方向にブラッシングして、垂直に保持した試料片の下方に約16mmの炎の先端(約5mm)を0.5秒間(生地表面の毛羽には着火するが、生地本体には着火しない時間)接炎し、火炎が10、20、30cmの高さに張ったナイロンの釣り糸に到達する時間を0.1秒の単位までタイマーで計測した。

表面フラッシュの起きにくさの主なテスト結果を、繊維の種類、起毛の程度等別に表13に示した。

表13. 繊維の種類、起毛の程度等による表面フラッシュの起きにくさ

主な繊維名	起毛等の程度(P7写真1-1~P10写真1-4参照)		繊維の主な混用割合(%)	ブラシ掛けで毛羽立て有			毛羽立て無	
				乾燥時		湿度65%時		
				新品	3回洗濯			
綿、レーヨン等	低起毛	3,17~20	綿100、綿54、レーヨン46、綿85、ポリエステル15	B or A	A	A	A	
	中起毛	2,15	綿100	B	A	B or A	A	
		16	綿53、ポリエステル47	B or A	A	A	A	
	ネル	1,13,14	綿100	C	B	C	A	
	パイル	長い	4	綿100	D	D	D	D
		短い	22	綿79、ポリエステル21	B or A	A	A	A
	モール糸	長い	23	レーヨン80、ナイロン20	D	D	B	D
		短い	24	レーヨン57、ナイロン43	B or A	A	A	B or A
コール天ニット	21	パイル:綿100	B or A	B or A	A	B or A		
ポリエステル、アクリル、毛等	フリス等の起毛	5~12	ポリエステル100、ポリエステル60、アクリル40、アクリル90、毛10	A	A	A	A	
綿	起毛なし	25,26	綿100	A	A	A	A	

[評価区分] A:表面フラッシュなし(表面フラッシュ炎が10cm未満) B:表面フラッシュあり(表面フラッシュ炎が10cm以上、又は表面フラッシュ炎が1秒以上で20cmに達した場合) C:表面フラッシュ著しい(表面フラッシュ炎が1秒未満で20cmに達した場合) D:表面フラッシュから生地本体の燃焼に発展した場合

(1) 繊維の種類の違い

綿やレーヨン等の易燃性でセルロース系繊維素材の混用割合が多い程、表面フラッシュは起きやすい傾向にあった。

中起毛の綿100%のトレーナー2銘柄は表面フラッシュするが、同じ中起毛のものでも、混用割合が「綿52.8%、ポリエステル47.2%」で、ポリエステルが約半分含まれているパジャマは、表面フラッシュしないことが多かった。また、綿100%のパイル地のバスローブは表面フラッシュから生地の燃焼に発展するが、同じパイル地でも、混用割合が「綿78.6%、ポリエステル21.4%」で、ポリエステルが約20%含まれているパジャマは、表面フラッシュしないことが多かった。

合成繊維や毛の混用割合が多いと、表面フラッシュすることはなかったが、炎を接した部分の毛羽が溶融して硬化したり、縮れて炭化した

表面フラッシュに関する警告表示のある銘柄の中に、ポリエステルやアクリル等の合成繊維の混用割合が多いものが8銘柄あった。しかし、いずれも炎を接した部分の毛羽は焦げるが、表面フラッシュしなかった。

(2) 起毛の形状や毛羽の長さや毛羽の向き

起毛の毛羽の長い方が表面フラッシュは起きやすく、毛羽が長くて密度が適度に粗いネル地は表面フラッシュが非常に起こりやすかった

綿100%でも起毛されていない生地は、炎を接した部分の毛羽は焦げるが、表面フラッシュはしなかった。また、低起毛(極僅かな起毛)のものは表面フラッシュしないものが多かった。ネル地(綿100%のパジャマやガウン)等のように、生地の表面の毛羽が長く、毛羽の密度が適度に粗く空気を含みやすい組織の場合、表面フラッシュは非常に起こりやすかった。

毛羽の密度が詰んでいると、表面フラッシュから生地本体の燃焼に発展した他、毛羽の密度が詰んでいて、ゴム編み地等畝のあるニット地の場合には、着火位置が畝の部位によって、表面フラッシュしたりしなかったりした

パイル地やモール糸等のように毛羽の密度が詰んでいると、表面フラッシュして、生地本体の燃焼に発展した。また、綿やレーヨン等で、コール天やモール糸使いのゴム編み地等畝のあるニット地の場合には、着火位置が畝の凹凸の部位によって、表面フラッシュしたりしなかったりした。

毛羽の密度が適度に粗いものは、毛羽立てた方が表面フラッシュしやすくなった。しかし、毛羽の密度が詰んでいるとブラシ掛けの有無には関係なく表面フラッシュから生地本体の燃焼に発展した。また、毛羽の向きによって表面フラッシュの起き具合は異なった

最も表面フラッシュしやすい綿100%のネル地は、表面の毛羽にブラシ掛けをして毛羽立てると表面フラッシュは起きやすかった。しかし、綿100%のパイル地やレーヨン混用割合の多いモール糸使いの生地は、ブラシ掛けしなくても表面フラッシュして、生地本体の燃焼に発展した。また、全体に、逆目(毛羽の立つ向き)にブラシ掛けをして毛羽立てた場合、表面フラッシュが起きる生地でも、順目(毛羽の寝る向き)にブラシ掛けをして毛羽立てた場合には、表面フラッシュは起きにくくなった。

(3) 衣類の湿り具合

全体的に、乾燥している方が表面フラッシュしやすい傾向にあった。しかし、85%に調湿した場合でも表面フラッシュするものもあった。

綿100%で低起毛の生地は、乾燥時に表面フラッシュするものがあるが、45%以上に調湿すると表面フラッシュはしなくなった。また、綿100%の中起毛のトレーナーは、乾燥時は表面フラッシュしたが、65%以上に調湿すると表面フラッシュしなかった。綿100%のパイル地や、レーヨン混用率の高いモール系のニット地等、乾燥時に生地の燃焼に発展するものは、85%(雨などで高湿度の状態、衣類を触るとかなり湿り気を感じる程度)に調湿すると、生地本体が吸湿して燃焼しにくくなり、生地の表面は焦げるが、生地本体の燃焼には至らなくなった。

綿100%のネル地のパジャマ2銘柄は、85%に調湿した場合でも表面フラッシュ炎が20cmに達するのに1秒未満で、表面フラッシュが著しかった。

(4) 洗濯を繰り返したり、柔軟剤を用いた場合

モール系使いのセーターは手洗いで、その他の衣類は全自動洗濯機を用いて、洗濯を3回及び20回繰り返した。更に3回洗濯後に柔軟剤を標準使用量用いた。これらの処理後に、表面フラッシュ試験を行った。

洗濯で毛羽が少なくなるものは、表面フラッシュは起きにくくなる傾向にあったが、毛羽の密度が詰んでいるものは洗濯の前後で表面フラッシュの起き具合は変わらなかった

綿100%のネル地は洗濯を繰り返すと、毛羽が少なくなって、表面の毛先が寄り毛乱れが生じて、表面フラッシュは起きにくくなった。しかし、毛羽の密度が詰んでいるもの(綿100%のパイル地とレーヨンの混用率の高いモール系ニット地)は洗濯を繰り返した後も、新品時と同様に表面フラッシュした後、生地本体の燃焼に発展した。更に、柔軟剤を用いた場合と用いない場合とで、表面フラッシュの起き具合を調べたところ、同様の結果であった。

起毛されていない生地(参考品)の場合には、洗濯による毛羽立ちの程度では、表面フラッシュは起きなかった

綿100%で起毛されていない織地(割烹着)は、洗濯を20回繰り返すと繊維が傷み、生地の表面がやや毛羽立ってくるが、表面フラッシュは起きなかった。

3) マネキン着用による製品での表面フラッシュ試験

実際の着用状態を想定してマネキンに製品を着用させ、左袖口付近に約3cmの炎の先端部分を約0.5秒間接し、表面フラッシュ状況をビデオに撮って調べた。

(1) 衣類がマネキンのボディに接触しているかいないかで、表面フラッシュ炎の伝播速度や火の勢いが異なる

衣類がマネキンのボディに接触している部分は、空気が通りにくくなるため、燃焼速度は遅くなった。反対に、衣類がマネキンのボディと離れている部分は、空気が通りやすくなるため、燃焼速度は早くなり、火の勢いも強くなった。

(2) 表面フラッシュの向きには、方向性がなかった

袖口付近に着火したが、着火した方の袖では下から上に表面フラッシュした。しかし、身頃では上から下方向や左から右方向に火炎が伝播して、方向性はなかった。

7 . 消費者へのアドバイス

1) 表面フラッシュが起きないようにするには

- (1) ゆとりのある衣服よりも体に合ったデザインの衣服の方が、着火や表面フラッシュしにくくなるので、調理等で火を使う場合には体に合った衣服を着用するとよい。
- (2) 綿ネル地等のように易燃性素材で毛羽立っている場合、素材がかなり湿気を含んだ状態でも表面フラッシュすることがあるので注意する。
- (3) 綿 1 0 0 % のパイル地や、レーヨン混率の多いモール系使いのニット地等のように目の詰んでいる起毛素材は、僅かな炎の接触で生地本体の燃焼に発展するので、このような着火しやすい衣服を着用して火のそばに近づかないように注意する。
- (4) 綿のネル地等のように、洗うと毛羽がとれて表面フラッシュしにくくなるものは、洗濯してから着用するとよい。
- (5) 冬場の湿度の低い時期や車から降りた直後等は、綿やレーヨン等のセルロース系繊維で起毛された素材の場合、摩擦等で毛羽立ち、表面フラッシュが起きやすくなっていることもあるので、ライターやガスコンロ等の炎に注意する。
- (6) 火元で着用する頻度の多い衣類には、生地表面の毛羽立ちの少ない衣類を着用するとよい。さらに、毛や難燃性素材（アクリル系、ポリクラーレ等）、防災加工素材（綿、ポリエステル、アクリル等に防災加工を施したもの）等のように、炎が接した部分だけ焦げて、炎を離すと燃え広がらない様な素材で出来た腕カバーや割烹着等を使用するとよい（参考文献：繊維学会編第2版繊維便覧、平成3年9月国民生活センター防災製品の商品テスト結果）。
- (7) 一般に、調理等で火を使う場合には、コンロの炎が着衣に触れないように注意するほか、鍋の外側に炎がはみ出ないように火力を調整して使用し、コンロの奥の物を取る時には手前のコンロの火を消してからにする等して、炎の上に手をかざしたり、コンロに近づき過ぎないように注意する。

2) 表面フラッシュ炎を消すには

万一、表面フラッシュが起こっても初めのうちは、炎はそれ程大きくないので、あわてずに落ち着いて、蠟燭の炎を吹き消すように強く息を吹き掛けたり、手で直ぐに叩いたり、素早く払ったり、タオルで払う等して、生地本体の燃焼に至らないうちに消すとよい。また、生地本体に燃え移ったら、水を掛けたり、濡らしたタオルや毛布等で包み消すとよい。

8. 業界への要望

- 1) 綿やレーヨン等は易燃性で、かつ、熱で分解するセルロース系繊維素材であるが、このような素材を用いて生地が起毛等して毛羽立っており表面フラッシュするもので、その旨の警告表示のない銘柄があった。また、表面フラッシュしやすい旨の警告表示があっても、表面フラッシュしない銘柄があったので、表面フラッシュに関する注意表示の徹底が望まれる。
- 2) 組成表示が家庭用品品質表示法の許容範囲を超えている銘柄があったので、組成表示の徹底が望まれる。

9. テスト項目及びテスト方法

1) 警告表示の適正さ

表面フラッシュに関する警告表示の有無と、表面フラッシュの起きにくさを測定し、表示の正確さを調べた。

2) 生地の組成の混用割合

J I S L 1 0 3 0 繊維混用率試験方法により、本体部分の組成を調べ表示値と比較し、家庭用品品質表示法の範囲内であるかを調べた。

3) 起毛の程度

生地をブラシ掛け後、平面と断面をデジタルカメラで約2倍の倍率で撮影した。

4) 表面フラッシュの起きにくさ

J I S L 1 0 9 1 繊維製品の燃焼性試験方法 C 法(燃焼速度試験)の燃焼性試験機(東洋精機製作所製、AATCC 織布防火度試験装置)の一部を改良し、表面フラッシュ炎が10、20、30cmの位置に張ったナイロンの釣り糸に到達する時間を0.1秒の単位まで測定し、合わせて、フラッシュ状態及び、フラッシュ後の試料片の燃焼状態を調べた。5×15cm、8.5×25cm、8.5×32cmの縦方向の試料片について、表面フラッシュが最も起きやすい条件(105℃で30分以上乾燥後、毛羽の立つ方向にブラシ掛けを行った)で試験した。新品時と3回及び20回洗濯後(J I S L 0 2 1 7 繊維製品の取り扱いに関する表示記号及びその表示方法の103で洗濯機洗いを行った。但し、銘柄 23及び24のみ106の手洗いを行った。)の試料片について、及び3回洗濯後柔軟剤を標準使用量用いた後の試料片について、更に、湿度を45%、65%、85%に変えた場合について行った。ブラシ掛けは(財)日本化学繊維検査協会のカケン式表面フラッシュ試験用ブラシ掛け装置を用いた。火源のガスは液化石油ガス4号(ブタン、ブチレンを主体とするもの)を用いた。

5) マネキンに着せた状態での、製品の表面フラッシュの起きにくさ

新品の製品について、ブラシ掛け後、マネキンに着せた状態で、袖口上部約2cmの位置に、約3cmのライターの炎の先端を0.5秒間接炎し、表面フラッシュの起きにくさを、ビデオに撮影して調べた。


参考資料1：繊維の燃焼性と熱の影響

分類	燃焼の状態	繊維	熱の影響
易燃性	炎に触れると容易に燃え、速やかに燃え広がる	綿、麻、レーヨン、キュプラ、ポリノジック	軟化溶解しないが、分解する
		アセテート、アクリル、ポリエチレン、ポリプロピレン	軟化溶解する
可燃性	炎に触れると容易に燃えるが、比較的ゆるやかに燃え広がる	毛、絹	軟化溶解しないが、分解する
		ナイロン、ポリエステル、ビニロン	軟化溶解する
難燃性	炎に触れている間は燃えるが、炎を遠ざけると消える（自己消炎性）	アクリル系、ポリ塩化ビニル、ポリクラーレ	軟化溶解する

参考文献：日本化学繊維協会編 繊維ハンドブック、繊維学会編 第2版繊維便覧

参考資料 2 : 取扱い絵表示一覧

製品名		銘柄名	表示者名	購入価格(円)	取扱い絵表示	
警 告 表 示 あ り	1	パジャマ(男)	G-HOUSE Pour homme	日本被服工業組合連合会	3,900	     ネット使用
	2	トレーナー(女)	IY BASICS	D-Tk1751 ((株)フワフワライト)	3,900	  
	3	割烹着	POLO LEAGUE	オグラン(株)	3,900	  
	4	バスローブ(男)	GIVENCHY	内野(株)	15,000	  ネット使用
	5	ジャケット(男)	Champion products	(株)コールドウイン	5,800	    
	6	トレーナー(女)	Mellow with	(株)ピークス	2,900	    ネット使用
	7	パジャマ(女)	h.n.	夕七ヨ(株)	4,900	   
	8	ジャケット(女)	U.P renoma	C-TK6286 (美濃屋(株))	4,900	   
	9	ホームウェア(女)	JOY MARY	日本織商連	3,900	   
	10	トレーナー(男)	MAX MORRIS	(株)サンレオ	3,900	    
	11	セーター(男)	B.V.D.	富士紡績(株)	3,900	   
	12	タートルネック(男)	B.V.D.	富士紡績(株)	2,900	   

製品名		銘柄名	表示者名	購入価格(円)	取扱い絵表示
13	警告表示なし	パジャマ(女)	G-HOUSE Pour femme	日本被服工業組合連合会	2,900  ネット使用
14		ガウン(男)	COMME CA DU MODE Home	チョーキング(株)	15,000 
15		トレーナー(女)	s a i n t maria	D-TK1751 ((株)フワフワライト)	2,900 
16		パジャマ(男)	TRUSSARDI	日登美(株)	13,000  ネット使用 裏から
17		割烹着	MARIO VALENTINO	川辺(株)	3,900 
18		先染めシャツ(女)	RYO	(株)リョウ・インターナショナル	2,900 
19		割烹着	Kansai	瀬川ファॅン(株)	5,500 
20		割烹着	BON PUCHI	(株)ホソテツ丸	2,300 
21		パジャマ(男)	renoma	荒川(株)	10,000 
22		パジャマ(男)	BE A MAN	(株)レナウン	8,800 
23	セーター(女)	idana	(株)ルシアン	3,900 	
24	セーター(女)	BASHECIN Q	SAKURAY A SHOJI K.K.	3,900 	
25	参考品	割烹着	文次郎	川辺(株)	3,800  ネット使用
26		割烹着	ELLE	(株)サロジエ	5,000 

注：一部の承認番号表示のものは調査した社名を()内に示した。

<title>衣料品の表面フラッシュに関する商品テスト結果（ 3 ） </title>